

令和3年度 青少年教育指導者等の養成・研修事業
とかしきボランティアスクール 開催要項 (11月6日開催版)



- 1 趣 旨 青少年の自立や健全育成、社会参画を促進するには、「ボランティア活動」が重要な役割を果たすことは周知のことである。青少年教育施設は、自然体験活動や集団宿泊活動を通して、未来を担う青少年に対して、「社会で生きる力」及び「新しい社会を築く力」を養うことを教育の目的としている。
- 本事業は、これからボランティア活動を始めの方々を対象に、ボランティア活動への理解を深め、ボランティア活動に向けた期待と意欲を高めるとともに、必要な基礎知識や技能を習得させることを教育事業のねらいとしている。当所の特色である美しい「ケラマブルーの海」を活用した魅力ある活動プログラムとなっている。
- なお、本事業を修了し、ボランティア登録した者は、国立青少年教育振興機構の「法人ボランティア」として、自主企画事業の実施や教育事業等へ参画することを通して、学びと活動の循環を経験しながら成長することができる。

※緊急事態宣言が延長となったことから、事業を再度延期して開催する。

- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家
- 3 後 援 沖縄県教育委員会、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会、琉球大学、沖縄国際大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄キリスト教短期大学、名桜大学、沖縄県立看護大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、OIST、沖縄工業高等専門学校、沖縄県専修学校各種学校協会、琉球新報社、沖縄タイムス社

- 4 実施日 令和3年11月6日(土) ～ 11月7日(日)〔予備日:11月13日(土)～14日(日)〕
※実施日において、船舶欠航等の場合は、予備日に延期します。
※予備日において、船舶欠航等の場合は、沖縄県立糸満青少年の家にて実施します。

- 5 場 所 国立沖縄青少年交流の家 (予備日船舶欠航時:沖縄県立糸満青少年の家)

- 6 対 象 ボランティア活動、自然体験活動に興味、関心のある高校生以上の方

- 7 定 員 30人程度 ※定員に達し次第募集終了

- 8 講 師 張本 文昭 氏(沖縄県立芸術大学全学教育センター 教授)
木島 悠太朗 氏(一般社団法人 JAPAN WATER PATROL)
国立沖縄青少年交流の家 法人ボランティア
国立沖縄青少年交流の家 職員

9 日 程

11月6日	1日目 大潮 満潮19:40(223cm) 干潮13:51(62cm)											
	9:00 10:00 11:10 12:00 12:30 14:00 17:00 18:30 19:30 21:30											
		乗船	フェリー	移動 開講式	昼食	講① 青少年教育	実① 安全管理	講② ボランティア 活動の意義	夕食 ・ 入浴	講③ 青少年教育施設 における ボランティア	就寝	
11月7日	2日目 中潮 満潮8:54(206cm) 干潮14:31(75cm)											
	6:00 7:30 8:10 8:30 10:30 12:30 13:30 14:30 14:45 15:30											
	起床 準備	朝食	移動	実② 海洋研修	実③ 野外炊事	食事 ・ 片付	閉講式	移動	フェリー	講④ 青少年施設の現状と運営		

※日程および内容については、都合により変更になる場合があります。

10 費用（参加費、バス代、船舶代の合計が費用となります。）

①参加費（食事代、保険代、シーツ代、教材費、雑費）	3,600 円	事業当日、渡嘉敷島で徴収します。
②バス代※参加人数によって変動します	1,500 円程度	
③船舶代 （フェリー往復（3,210 円）＋環境協力税 100 円）	3,310 円	事業当日、各自、とまりん乗船券売り場でお支払いください。

※荒天等による実施場所変更や都合により費用が変更される場合があります。その場合、参加者に改めて連絡いたします。

11 申し込み・締め切り **※再度募集を行います。**

(1) 令和3年9月27日(金) 9時 ～ 令和3年10月15日(金) 17時

沖縄青少年交流の家ホームページに掲載の申込フォームより、必要事項を記入し、申し込みください。

(メール、FAX での申込希望の方は別紙申込用紙に必要事項を記入の上ご送信ください。また、お手数ではございますが、受信確認のお電話を当所までかけていただき、申し込み内容のご確認をお願いいたします。)

※電話確認時間 9:00～17:00

(2) キャンセルの場合は速やかにご連絡をお願いいたします。

12 持ち物

- 体調管理シート ○マスク(2枚以上) ○体温計 ○マイカップ ○スリッパ ○着替え ○帽子
- 水着・上下(ぬれても良い服) ○サンダル ○筆記用具 ○カップ(セパレートタイプが望ましい) ○タオル
- 健康保険証 ○洗面入浴用具(歯ブラシ、シャンプー、石けん等) ○常備薬 ○日焼け止め ○その他必要なもの

※金品や貴重品は各自で管理してください。携帯電話・スマホ、カメラ等について、研修活動中は原則、使用禁止です。

※海洋研修中は、ラッシュガード等を着用し、肌が露出しないようにしてください。※野外炊事研修は、長袖・長ズボン・靴でご参加ください。

13 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における留意点

- (1) 参加者は事業2週間前から体調管理シートを用いて自己管理を行う。
- (2) 事業中はマスク、手洗い、消毒、互いの距離をとるなど可能な限り「三つの密」を避けるよう対策を行いながら実施する。
- (3) 事業中は起床後と就寝前に体温測定と健康観察を行い、参加者の健康維持を図る。

14 新型コロナウイルス感染症拡大防止のお願い

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の中止や延期、日帰り開催とすることがあります。
- (2) 発熱等の諸症状がみられる場合は、参加を取りやめていただくようお願いいたします。
- (3) お住まいの自治体に往来自粛の要請等が出ている場合は、事業への参加を御遠慮していただきます。

15 その他

- (1) 泊港にて各参加者にてフェリー乗船券を購入し、9時30分までに乗船をお願いします。
※乗船券の予約は交流の家から行います。当日、泊港「乗船券売り場」にて、「交流の家の事業名およびお名前」を売り場係員へお伝えください。
- (2) 本事業の受付は、渡嘉敷港待合所にて行います。(参加費、バス代は、受付後、徴収いたします※事前振込等はありません)
- (3) アレルギー等、健康上の配慮が必要な場合は、必ず申込時にお申し出ください。
- (4) 食事代には、1日目の昼食・夕食、2日目の朝食・昼食が含まれます。
- (5) ボランティア登録後は全国28カ所の国立青少年教育施設での活動が可能となります。(活動希望ができます)
- (6) ボランティア登録後のボランティア活動時には、次の費用を支給します。
(県内各地から泊港までの移動交通費(公共交通機関)、泊港―渡嘉敷港間の船舶代、食費等)
- (7) 法人ボランティアとしての活動前に、各自でボランティア保険に加入する必要があります。(500円程度の保険加入想定)

ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディアサービスを含む)等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(又は保護者)から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。※ご承諾いただけない場合は事前に事業担当者へご相談ください。

【問い合わせ】 国立沖縄青少年交流の家 担当：村島
TEL 098-987-2306 FAX 098-987-2318
HP: <https://okinawa.niye.go.jp/> E-mail: okinawa@niye.go.jp